

(注意) : 複数選択: 単一選択

文字列入力()

数字入力[]

凡例 入力項目分類 (数字は入力の優先順位)

1. 毎回入力項目 : 2重括弧 (毎回入力をしていただく項目)
2. 変更のみ入力項目 : 1重括弧 (前回からのデータ変更及びデータ追加があれば入力していただく項目)
3. 1回のみ項目 : 括弧なし (1回のみ入力すればよい項目)

日付項目

「不明」にチェックする場合 : プロジェクト開始以前のため、カルテ等で避れない場合のみにして下さい。
 年月のみ判明している場合 : 年月は判明している情報を、日は「不明」を入力して下さい。

追加

1回の入力でシートを追加して入力可能

前回の内容をコピー

前回調査の入力をコピーして入力可能

(疾患) 間質性肺炎・肺線維症

疾患の定義

病理診断または胸部 HRCTにて確定診断がなされている。

または、すでに間質性肺炎・肺線維症と診断され、薬物治療等が行われている。

IPF(特発性肺線維症)は2011ATS/ERS/JRS/ALAT(AJRCCM 2011;183:788-824)の基準を満たすもの。

日本呼吸器学会びまん性肺疾患診断・治療ガイドライン作成委員会(編)特発性間質性肺炎-診断と治療の手引き、第2版 2011

診断日 []年 []月 []日 不明

主要症状および理学所見

 あり なし 不明

- fine crackles
- 乾性咳嗽
- 労作時呼吸困難
- ばち指

総合診断

 あり なし 不明

- 特発性肺線維症(IPF)
- IPF 以外の間質性肺炎
 - 非特異性間質性肺炎(NSIP)
 - 細胞性非特異性間質性肺炎(c-NSIP cellular NSIP)
 - 線維性非特異性間質性肺炎(f-NSIP fibrotic NSIP)
 - 急性間質性肺炎(AIP)
 - 特発性器質化肺炎(COP)
 - 剥離性間質性肺炎(DIP)
 - 呼吸細気管支随伴間質性肺炎(RB-ILD)
 - リンパ球性間質性肺炎(LIP)
 - その他(分類不能を含む) ()

※2 回目以降、(疾患)間質性肺炎・肺線維症の臨床情報入力シートに記入いただく項目はありません。